年の初めに思ったこと

副支部長　　西岡　幸則

令和３年の新春を迎え、早いものでもう２ヶ月が過ぎてしまいました。昨年は、コロナ、コロナで社会全体が大きく変わってしまいました。

子どもたちは、学校での休み時間に友だちと思いっきり駆け回ったり、給食時間に友だちと楽しく会話したりすることが制限され、それどころか、登校することさえ規制されてしまいました。私たち退公連小倉・門司支部会員の行動も抑えられました。遠くに住む子どもや孫と会う機会がことごとく制約されてしまいました。

退公連小倉・門司支部の活動も一変してしまいました。例年行ってきました様々な活動がことごとく制限され、会員が一堂に会し、会話する機会がなくなってしまいました。

そんな中で私たちは、人と人とが直接会って、たわいもないおしゃべりをすることがいかに「有難い」ことであったかを再認識させられました。

また、直接会うことが難しい中、人と人が繋がっていくための新たな術を見出そうとしてきました。

ウィズコロナの時代、私たち退公連小倉・門司支部においても、会員相互の繋がりの場をいかにして創り出し、深めていくか、試練の年になろうかと、身を引き締めた年の初めでした。

当面は、まずは「感染しない、させない」をモットーに過ごして参りたいと思います。

会　員　の　声

令和２年度はコロナ禍で支部の活動も十分できないままでした。そういった中で、会員の方々がどのように過ごしておられたのか、近況も踏まえてお二人の方に寄稿いただきました。

思いで多い退公連

【長行・長尾校区】　奥村　キヨ子さん

昭和５２年３月３１日付で、北九州市立前田幼稚園園長を退職しました。数年後退公連に入会しました。平成６年に県の総会に出席した折、小倉支部に女性部がないことが判明しました。次の年度に小倉支部にも女性部が新設され、初の女性部長に就任しました。その後、副支部長、参与となり、平成２３年に退任しました。

実は私が生まれた大正９年はスペイン風邪が大流行し、世界人口の３分の１の人々が感染し、死者が１千万人に達しましたが、私は生き残りました。そして１０１歳を迎えた今年、新型コロナウィルスがまだ猛威を振るっています。外出を控え、手洗い・マスクで感染者にならないように努めています。

会員の皆様も細心の注意を払い、今年もご健勝にてお過ごしください。

与えられた命に感謝しながら

【門司区】　乾　節子さん

季節は四度変わり、いつ終わるともしれない新型コロナウィルスに怯えています。昨年９月には、卒寿のお祝いをいただき感謝しています。私自身もこんなに長く生かされることに驚いています。

車にはあまり乗らないようにしていますが、生活をするためには免許証を返納するわけにはいかず、運転免許更新の為、認知機能テストにいきました。

門司の方は本当に淋しくなりました。今はコロナの影響でいろいろなところにお見舞いに伺ってもお会いできないので戸惑います。与えられた命を大切に役立てるよう頑張るつもりです。正座もまだできます。戦争中を乗り越えた力を思い出し生きています。本当にありがたく感謝しています。

小倉・門司支部の会員の皆様方のご健康をお祈り致します。

福岡県退職公務員連盟
令和２年度組織部長会に参加して

組織部長　　金子　博光

令和２年度の組織部長会は、体温測定やマスク着用、アルコール消毒、ソーシャルディスタンス等のコロナ感染防止の対応の中、春日市のクローバープラザで開かれました。ここ数年約 250 人の会員の減少が続き、令和元年度の会員数は 2942 人という危機的な状況を踏まえ、「会員の高齢化の中で出来ることは何か、知恵を出そう！」というスローガンのもと、事務局より以下の提言がありました。

○支部相互が緊密な連携をとり連盟の強化発展を図るための組織の再編成（現在の５ブロックを福岡、筑後、北九州、筑豊の４ブロックに）
○県連と連携したメリハリのある組織拡大・強化の取り組み（１年を４期に分けて）
○入会勧誘の５本の柱（培われた絆、退公連の理解、退公連の業績、社会貢献活動、目標値の設定）

後半に入り、大牟田支部の実践発表を受けての意見交流も行われました。「退職者を把握しにくい」「4 月 1 日の新聞をもとに退職者名簿を作成している」「退職後の再就職のため入会はできないという声を聞く」「年令差がありすぎて勧誘の声かけがしづらい」「退公連のメリットを、退公連とは何かを、もっとしっかり啓発していかなければならない」等、様々な意見が出されました。

福岡県退公連の組織の現状を目の当たりにするとともに、小倉・門司支部においても早急に取り組んでいかなければならない課題であると改めて考えさせられました。

一人が一人に声をかけ、勧誘を

新入会員さんの声

『初任者研修指導教員として』

【中島校区】　中野　まどか

令和2年4月から6人の初任の先生方の指導をしております。令和2年度の学校は、始業式も音読も歌唱も今までとは違った形ですが、初任者が自信と誇りを持って本市の子どもの育成に尽くしていけるよう務めております。先輩の皆様、末永くお導きいただきたく存じます。

『よろしくお願いします』

【貫 校 区】　末武　正好

令和２年３月をもって教職生活を無事に終えることができました。これまでご指導いただきました多くの諸先輩方に心より感謝申し上げます

現在は、区役所子ども家庭相談コーナーで相談業務にあたっています。どうぞよろしくお願い致します。

『次の世代に』

【門 司 区】　木村　暢男

令和２年３月末をもって八幡西区八児小学校を最後に定年退職しました。現在は 6 人の新採の指導にあたっています。これまで 38 年間学んできたことや経験してきたことを少しでも次の世代に引き継げるようにと仕事に励んでいます。

『よろしくお願いします』

【門 司 区】　花田　博之

３７年間の門司区、小倉北区、小倉南区の学校現場での勤務の後、４月からは門司区の学校に勤務しております。この度、お世話になった先輩方の仲間入りができたことを誇らしく思っております。今後も学校現場で子どもたちのために尽力してまいります。

会 員 の 現 況

○会員数　317名（令和2年 12 月末現在）

★叙勲を受けられた方（敬称略）
ご受章おめでとうございます。
≪瑞宝双光章≫　松井　明子（西小倉校区）

■亡くなられた方（敬称略）
謹んでご冥福をお祈りいたします
- 小田口喜久子（佐世保市）R2.8.31
- 河 崎　久 枝（門司区）R2.10.15
- 福 田　利 夫（清水校区）R2.10.21
- 重 留　敏 行（城野・霧丘校区）R2.11.12

※ご家族の方へお願い
転居・本人物故が発生しましたら、班長・役員又は直接支部長 451-0787 へ御一報下さい。